

《専門教育科目》

科目名	教育原理	科目ナンバリング	STAL41002
担当者氏名	古田 薫	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	1 年 ・ II 期

《授業の概要》

教育教育を、歴史、社会、思想など多様な視点から検討し、教育と社会との関係や現代社会状況の中で直面する諸問題を考察することにより、教育の本質や基本原理に対する理解を深める。

《授業外学習》

参考文献を中心に活字資料にあたること。
ニュース記事などを探して教育に関する情報を収集すること。

《テキスト》

授業中にプリントを配布する

《学習状況・理解度の確認》

毎回、授業後にリアクションペーパーを提出し、講義内容を適切に理解しているかどうか確認する。質問や疑問には授業内で回答し、提出物はコメントを付して返却する。

《参考図書》

汐見稔幸他『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房
文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編』（ダウンロード可）

《備考》

必要に応じて、グループディスカッションなどを実施する。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	教育の概念と本質を理解し、これらに基づいて現代の教育問題を分析できる。
	主な教育思想、教育観を理解し、さまざまな教育方法や教育課程のありかたと関連づけることができる。
	家族や社会による教育の歴史を理解している。
	児童の権利と福祉について理解している。
	生涯学習の理念について理解している。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	50
小テスト	0
レポート	30
発表・実技	0
授業内課題	20
その他（ノート整理）	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	教育の理念	教育の目的と機能，教育概念の範囲、授業の計画・評価・課題についての説明	プリント	60
2	学校の機能と目的	組織的機関としての学校，学校教育の目的とその実現過程	プリント	60
3	教育の歴史，教育思想の変遷	教育思想の誕生，近代教育思想のあゆみ	プリント	60
4	カリキュラム開発	カリキュラムの意味と構造・類型，カリキュラムの編成・実施・評価	プリント	60
5	学習指導観の変遷	教授・学習の方法，教授・学習方法の歴史の変遷	プリント	60
6	学習指導の原理	教授・学習の方法原理，教授・学習の諸類型	プリント	60
7	授業の技術，教授法	言語コミュニケーション技術と情報化，インストラクショナル・デザイン	プリント	60
8	授業の評価	教育評価の意義・目的・種類，教育評価の方法と結果の活用	プリント	60
9	生徒指導の内容と方法	生徒指導の意義・目的・内容，組織・計画・体制	プリント	60
10	生徒指導の課題	生徒指導の内容・領域・方法，指導形態と地域等との連携，非行	プリント	60
11	学校経営	学校の組織と経営計画，特色ある学校づくりと教育課程経営	プリント	60
12	学校経営	学級経営と担任の役割，学級経営と学年・学校経営，校務分掌	プリント	60
13	学校教育の歴史，制度	学校教育制度の歴史と構造，公教育の意義，生涯学習	プリント	60
14	戦前戦後の教育行政，教育行政の課題	教育行政の原理，教育法規，中央と地方	プリント	60
15	教師の課題，役割	戦前・戦後の教員養成，教職観，教員の社会的地位と役割	プリント	60

《専門教育科目》

科目名	教職概論	科目ナンバリング	STAL41001
担当者氏名	佐野 秀行	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	1 年 ・ I 期

《授業の概要》

教職とは何か、教員の社会的役割は何か、教員の仕事とはどのようなことなのかについてさまざまな角度からアプローチし、教職の意義についての理解を深める。実際の教員の「仕事」や「立場」を、授業、校務分掌、保護者や地域と連携の観点から捉え、チームとしての学校の在り方を考察するとともに、法的な位置づけを理解する。また、教員として求められる資質や能力はどのようなものかについて理解し、自らの課題を明らかにする。

《テキスト》

授業中にプリントを配布する

《参考図書》

別途、リーディングリストを配布する。

《授業外学習》

配布された資料を読み、授業内の課題に取り組む準備をする。

《学習状況・理解度の確認》

毎回、授業終了時にコメントのカード（大福帳）を記入してもらい、次の回に返却することで質問や意見のやり取りをする。

《備考》

必要に応じて、グループディスカッション、クラス全体での討議等を実施し考察を深める。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	教員の社会的役割とその歴史の変遷を理解し、自分なりの教職観を持って、自身の課題を省察することができる。
	教員養成と教員免許制度について理解している。
	教員の任免と服務について理解している。
	教員の種類と職務、校務分掌について理解している。
	教員に求められる資質能力と研修について理解している。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	80
小テスト	0
レポート	10
発表・実技	0
授業内課題	10
その他（授業外学習）	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	教職とは	・本講義の進め方について理解し、主体的に学習に取り組む意欲を持ち、教員を目指すものとしての姿勢について考察する。	教員採用試験について	60
2	さまざまな教職観とその歴史の変遷	・教職観の歴史の変遷をたどりながら、教職とは何かを考察し、自分自身の教職観、教員像を獲得する。	良い教員とは	60
3	教員に求められる資質・能力	・教員に求められる資質・能力を、さまざまな答申やデータから読み解き、自分自身の課題を明らかにする。	プリントを読んで感想を書く	60
4	教員養成と教員免許制度	・教員免許制度の法的側面を学び、教員養成の仕組みを理解する。 ・教員採用試験の概要を知り、採用試験までの展望を持つ。	採用試験合格に向けた計画	45
5	教員の職務①:教員の種類と職務、校務分掌、チーム学校	・学校の教育活動を支える教員組織と役割分担、連携協力、チーム学校の意義を理解する。	校務分掌について調べる	45
6	教員の職務②:学習指導、生徒指導、その他	・学習指導、生徒指導、進路指導、教育相談、その他の教員の職務について理解する。	教員の一日をレポートする	45
7	教員の職務③:保護者・地域との連携協力	・保護者や地域住民との連携協力の意義を理解し、どのようなあり方が望ましいかを考察する。	事例を調べる	45
8	教員の職務④:アカウンタビリティと学校運営	・学校運営のプロセスを理解する。 ・学校の果たすべきアカウンタビリティとは何かを理解する。	学校評価の結果を分析する	45
9	教員の人事管理①:服務	・地方公務員法および教育公務員特例法等から教員の服務と身分について理解する。	プリントを読んで感想を書く	60
10	教員の人事管理②:任免と服務の監督、懲戒	・教員の任免に係る制度、教員の身分保障と分限、懲戒等について理解する。	プリントを読んで感想を書く	60
11	教員の人事管理③:教員評価	・教員評価の意義と課題について理解する。	プリントを読んで感想を書く	60
12	教員の資質向上と研修	・教員の研修制度について理解し、資質向上のためにどのような取り組みを行う必要があるかを考察する。	教員としてのキャリア計画	45
13	教員の労働環境	・教員の勤務実態、労働条件について、事例にそって理解する。	プリントを読んで感想を書く	60
14	教師という仕事—やりがいと悩み—	・教員としてのやりがいや悩みについて、さまざまな文献を通して教員の生の声を聞き、教職に対する自分自身の考えを整理する。	事例を調べる	45
15	目指す教員像と課題	・学習を振り返って、教職とは何かを考察する。 ・どのような教員になりたいかを、多様な視点から述べ、自らの課題を	どのような教員をめざすか	60

《専門教育科目》

科目名	教育制度論	科目ナンバリング	STAL42003
担当者氏名	山崎 博敏	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	2 年 ・ I 期

《授業の概要》

教育行政の組織と機能および学校教育に必要な法令や制度の基本、重要語句・概念についての理解を深め、教育制度や学校経営についての体系的な知識を獲得する。今日の教育の課題と教育改革の動向を理解し、自分自身の考えを深める。

《授業外学習》

- ・授業の前までに教科書の当該箇所目を通しておくこと。
- ・配布資料は順番に整理し、ファイルに保存しておくこと。
- ・ノートには授業の要点を1ページ程度で箇条書きする
- ・授業でわからなかった点は調べたり、次回の授業時に質問すること。

《テキスト》

山崎博敏編『教育の制度と社会（改訂版）』協同出版、2019年

《学習状況・理解度の確認》

授業後に提出するリアクションペーパーと2回の確認小テストにより講義内容を適切に理解しているかどうか確認する。

《参考図書》

古田薫、山下晃一（編著）『よくわかる！教職エクササイズ⑦ 法規で学ぶ教育制度』ミネルヴァ書房。

《備考》

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	教育法規の体系を理解し、主な教育関係法規名とその概要を説明できる。
	教育の理念や目的・目標について理解し、義務教育の意義および特別支援教育の特質を説明できる。
	教育行政の仕組みや学校制度について理解している。
	学校運営について理解している。
	今日の教育の課題と教育改革の動向を理解し、自分自身の考えを述べるができる。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	60
小テスト	30
レポート	0
発表・実技	0
授業内課題	0
その他（出欠状況）	10
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	教育制度と教育行政の基礎知識	・教育制度を学ぶ意義を理解する。 ・教育行政、教育制度の基本概念を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
2	教育制度の発展	・欧米の教育制度の発展を理解する。 ・我が国の教育制度の発展を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
3	憲法と教育基本法	・憲法における教育に関する規定を理解する。 ・教育基本法の性質と意義、内容を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
4	教育を受ける権利と義務教育	・教育を受ける権利を保障するための義務教育制度、就学援助等の概要を知る。	教科書の予習と配布資料の整理	45
5	学校制度①小学校と中学校	・法規上の学校の定義と種類、目的・目標を知る。 ・小学校と中学校の教育と組織の特徴を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
6	学校制度②高校	・高校の教育と組織の特徴を理解する。 ・確認小テスト（1）	教科書の予習と配布資料の整理	45
7	学校制度②特別支援教育	・特別支援教育の意義を理解する。 ・さまざまな特別支援教育の場とそこでの指導体制を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
8	教育行政の仕組み①国	・文部科学省など国の教育行政機関の仕組みを理解する。 ・国の教育政策の決定過程を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
9	教育行政の仕組み②地方	・都道府県と市町村の教育委員会制度を理解する。 ・国と地方の教育行政の関係を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
10	教育課程	・学習指導要領とは何かその意義と内容を理解する。 ・学校の教育課程編成と達成状況の評価について理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
11	学校の組織と経営①	・教育上の諸問題と児童生徒へのさまざまな懲戒を理解する。 ・生徒指導の在り方について考える。	教科書の予習と配布資料の整理	45
12	学校の組織と経営②	・学校の管理運営組織と学校評価を理解する ・地域連携、子育て支援、危機管理を含む学校の経営を理解する	教科書の予習と配布資料の整理	45
13	教職員制度	・教職員の服務と義務、職務を理解する。 ・教職員の人事管理と懲戒を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
14	教員の職務	・教職員の職務遂行に必要な資質を理解する。 ・教職員のたえざる資質向上の必要性を理解する。	教科書の予習と配布資料の整理	45
15	21世紀の教育に向けて	・外国の教育改革の動向を知り、日本の教育の在り方を考察する。	教科書の予習と配布資料の整理	45

《専門教育科目》

科目名	特別支援教育論	科目ナンバリング	STAL42010
担当者氏名	杉田 律子	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	2 年 ・ II 期

《授業の概要》

2007年4月より、特別支援教育の対象は軽度発達障害児まで、また通常学級で学ぶ子どもへの支援まで含まれるようになった。今後は一層、インクルージョンが進むと予測され、すべての学校教員が特別な教育支援を必要とする子どもたちの支援を学ぶ必要がある。この講義では、教員免許取得を目指す者として、最低限必要な障害の理解、特別支援教育の歴史的背景について学ぶとともに、子ども達とその家族への支援について考えることができることを目標とする。

《テキスト》

特別支援教育総論（守屋國光編、風間書房）

《参考図書》

新版キーワードブック特別支援教育（玉村公二彦ら編、クリエイツかもがわ）

《授業外学習》

事前学習課題を提示し、発表し合うことにより深く学ぶ学修を含む。積極的に課題に取り組むこと。

《学習状況・理解度の確認》

小テストや課題の添削、コメントを付けて返却を行う。また、オフィスアワーや授業の前後での質問に応じます。筆記テストについては、要点の解説をおこない知識の定着を図る。

《備考》

授業に出席するだけでは単位取得は困難だと心得ておくこと。質の高い教員になることを真に志す学生の受講を期待する。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	教員免許状取得を目指す者として、最低限必要な障害等の概要を理解できる。
	子どもに適した支援方法を学び、教材研究の方向性を理解し、障害児の家族への支援について考えることができる。
	外国籍や貧困など特別な教育的ニーズのある子どもへの支援の方法を理解する。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	70
小テスト	10
レポート	0
発表・実技	0
授業内課題	20
その他()	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	特別支援の必要な子どもの理解①特別支援教育の理念	インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する理念や仕組み、ICF, 合理的配慮	学習のまとめプリント	45
2	特別支援の必要な子どもの理解②特別支援教育の制度	特別支援教育の歴史的変遷と特別支援教育の制度、通級指導、自立活動	事前学習プリント	45
3	視覚障害・聴覚障害の理解	視覚障害と聴覚障害のある子どもの心身の発達、心理的特性及び学習の過程	学習のまとめプリント	45
4	視覚・聴覚障害教育の教育課程および支援の方法	視覚障害・聴覚障害のある子どもの教育課程や支援の方法を理解する。	事前学習プリント	45
5	知的障害、肢体不自由、病弱の理解	知的障害児、肢体不自由児、病弱児の心身の発達、心理的特性及び学習の過程	事前学習プリント	45
6	知的障害児の教育課程および支援の方法	知的障害児の教育課程や支援の方法	学習のまとめプリント	45
7	肢体不自由児の教育課程および支援の方法	肢体不自由児の教育課程や支援の方法	事前学習プリント	45
8	病弱児の教育課程および支援の方法	病弱児の教育課程や支援の方法	事前学習プリント	45
9	発達障害の理解	発達障害児の教育課程や支援の方法	事前学習プリント	45
10	発達障害児教育の教育課程および支援の方法	自閉症、ADHD, LDなどの発達障害の特性とその支援方法について理解する。	学習のまとめプリント	45
11	特別支援の教育課程と個別支援計画	通常学校における、感覚障害のある子どもに対する個別支援、自立支援の方法について理解を深める。	事前学習プリント	45
12	特別支援の教育課程および支援の方法	特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性	事前学習プリント	45
13	家庭支援と教育相談	保護者に対する支援と教育相談心理的アプローチ	学習のまとめプリント	45
14	特別な教育的ニーズのある子どもの把握と支援①	障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応	事前学習プリント	45
15	特別な教育的ニーズのある子どもの支援②/まとめ	母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応	学習のまとめプリント	60

《専門教育科目》

科目名	教育課程論	科目ナンバリング	STAL42004
担当者氏名	古田 薫	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	2 年 ・ II 期

《授業の概要》

教育課程の構造と基礎的な編成原理、その意義、基準となる学習指導要領の内容と法的性格について理解を深め、学校の教育課程の管理と運営をカリキュラム・マネジメントの視点から考察する。事例を用いた学習、グループディスカッション等を通して、現代的課題についての考察と意見交換を行い、理解を深める。

《授業外学習》

参考文献を中心に活字資料にあたること。
 ニュース記事などを探して教育に関する情報を収集すること。
 自分で授業を作るための情報収集、各教科の教科書に当たり授業のためのネタをさがしてみてください。

《テキスト》

文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』、文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編』（ダウンロードできます）

《学習状況・理解度の確認》

毎回、授業後にリアクションペーパーを提出し、講義内容を適切に理解しているかどうか確認する。質問や疑問には授業内で回答し、提出物はコメントを付して返却する。

《参考図書》

《備考》

必要に応じてグループディスカッション、クラス全体での討議等を実施し、考察を深める。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	教育課程の構造と基礎的な編成原理について理解している。
	学習指導要領の内容と法的性格について理解している。学習指導要領の変遷とその背景について理解している。
	学校における教育課程の編成とカリキュラムマネジメントについて理解している。
	主体的・対話的で深い学びと授業の中でどのように実現していくかを理解している。
	社会に開かれた教育課程、教科等横断的教育課程について理解している。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	50
小テスト	0
レポート	20
発表・実技	0
授業内課題	30
その他（ノート整理）	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション 教育課程とは	・教育課程とは何か、教育課程の意義と必要性、法的位置づけについて理解を深める。授業の計画・評価・課題についての説明	プリント	45
2	教育課程編成と教育目的・目標、学習指導要領の性質	・学校教育、各学校段階の目的・目標を知る。 ・学習指導要領の法的位置づけや学校教育における役割を理解する。	プリント	45
3	学習指導要領の意義と内容の歴史の変遷①	・学力観、学習指導要領の変遷とその背景（戦後～1998年）を知る。	プリント	45
4	学習指導要領の意義と内容の歴史の変遷②	・学習指導要領の変遷とその背景（～2008年）を知る。	プリント	45
5	新学習指導要領の要点	・2017年学習指導要領の基本理念と改訂の方針、改訂の要点を知る。	プリント	45
6	カリキュラムの諸形態	・カリキュラムの歴史、カリキュラムの類型とその特徴を理解する。 ・教科横断的なカリキュラムの在り方を検討する。	プリント	45
7	教育課程編成の基礎原理	・教育課程編成の基礎原理について理解する。 ・教育内容をいかにしてデザインするかを理解する。	プリント	45
8	教育課程における個人差の取り扱い	・個人差とは、個に応じた指導とはどのようなものかを理解する。 ・個人差を考慮した教育課程の在り方を考える。	プリント	45
9	カリキュラム・マネジメント	・カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方、意義と実際を理解する。	プリント	45
10	教育課程と評価	・教育課程における評価の意義と評価計画について理解する。 ・教育課程の評価をカリキュラムマネジメントに位置付けて理解する。	プリント	45
11	教育課程と主体的・対話的で深い学び	・中学校・高等学校における教育課程で、主体的・対話的で深い学びをどのように実現するかを考える。	プリント	45
12	社会に開かれた教育課程、特色ある教育活動	・社会に開かれた教育課程、特色ある教育活動の意義を理解する。 ・教育課程における地域との連携について考える。	プリント	45
13	教科等横断的教育課程	・教科等横断的な教育課程とはどのようなものか理解する。 ・教科等横断的な教育課程をどう構成できるかを考える。	プリント	60
14	教科書制度と教育課程	・教育課程における教科書の位置づけを理解する。 ・教科書の無償措置および検定制度について知る。	プリント	120
15	教育課程改革：社会の変化と教育課程	・教育課程改革の動向を理解する。 ・社会の変化と教育課程の在り方について考察する。	プリント	120

《専門教育科目》

科目名	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法			科目ナンバリング	STAL43011
担当者氏名	岡本 洋之			担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2	・ 選	開講年次・開講期
					3 年 ・ I 期

《授業の概要》

特別活動については、その意義、目標、内容、及び指導の在り方を学習する。総合的な学習（探求）の時間については、その意義、各学校において目標及び内容を定める際の考え方、指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力の内容を身に付けるとともに、指導と評価の考え方及び実践上の留意点を修得する。

《授業外学習》

特別活動は日本の学校教育の中で特色ある分野であり、また総合的な学習（探求）の時間は時代の要請に応じて近年力が入れている分野である。このことをふまえて、両分野のみならず学校教育界全体の動きを日ごろからニュース等で十分に把握しておくこと。

《テキスト》

中学校学習指導要領（文部科学省）とその解説
高等学校学習指導要領（同）とその解説

《学習状況・理解度の確認》

毎回授業後に振り返りの短文を書くことを求め、次回の授業に生かす。提出物にはコメントを付して返却する。質問は、可能な限り随時受け付ける。担当教員のメールアドレス…okamotoh@hyogo-dai.ac.jp

《参考図書》

中学校新学習指導要領の展開 特別活動編／総合的な学習編（明治図書）
高等学校新学習指導要領の展開 特別活動編（同）

《備考》

担当者は教員として高等学校での勤務歴のある実務経験者である

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	学校教育における特別活動の意義を理解し、人間関係形成・社会参画・自己実現や“チーム学校”の視点を持つ。
	学年による特別活動の変化、各教科等との関連、地域住民や他校と連携した対応等に必要知識や素養を体得する。
	総合的な学習/探求の時間での社会・生活課題探究のための指導計画作成/指導法/評価の知識技能を体得する。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	0
小テスト	0
レポート	0
発表・実技	40
授業内課題	60
その他()	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション	本授業の到達目標及びテーマ、概要、評価方法	自分の学校生活を振り返る	90
2	特別活動（1）	学習指導要領における「特別活動」の目標と内容	学習指導要領を読む	90
3	特別活動（2）	教育課程における「特別活動」の位置付けと各教科等との関連	学習指導要領解説を読む	90
4	特別活動（3）	学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質	現場が抱える問題を考える	90
5	特別活動（4）	「特別活動」における評価と改善活動	現場の課題を考える	90
6	特別活動（5）	集団活動	実践例を調べてくる	90
7	特別活動（6）	家庭・地域住民や関係機関との連携	先進例を調べてくる	90
8	特別活動（7） 総合的な学習（探求）の時間（1）	「特別活動」に関する総括 「総合的な学習（探求）の時間」の意義と教育課程における役割	学習指導要領を読む	90
9	総合的な学習（探求）の時間（2）	学習指導要領における「総合的な学習（探求）の時間」の目標、各学校における目標及び内容の設定	学習指導要領解説を読む	90
10	総合的な学習（探求）の時間（3）	年間指導計画の作成	実践例を調べてくる	90
11	総合的な学習（探求）の時間（4）	単元計画の作成	先進例を調べてくる	90
12	総合的な学習（探求）の時間（5）	探究的な学習の過程と方法	現場が抱える問題を考える	90
13	総合的な学習（探求）の時間（6）	「総合的な学習（探求）の時間」の評価	現場の課題を考える	90
14	総合的な学習（探求）の時間（7）	「総合的な学習（探求）の時間」に関する総括	自分の学校生活を振り返る	90
15	本授業全体の総括	「特別活動」、「総合的な学習（探求）の時間」と「生きる力」	本授業全体を振り返る	90

《専門教育科目》

科目名	教育方法・技術論		科目ナンバリング	STAL42006
担当者氏名	吉永 潤		担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2	・ 選
			開講年次・開講期	2 年 ・ II 期

《授業の概要》

教育方法・技術及び教育評価に関する基礎的理論・概念の理解を踏まえ、現代社会が求める主体的、対話的で深い学びの実現を生む教育方法と技術についての理解、とりわけ情報機器の教育的機能についての理解を深める。以上の上で、学習指導案の作成をグループ作業として体験し、成果を相互に交流・批評する。

《授業外学習》

グループで学習指導案作成を行うため、授業外でのグループワークを要する。

《テキスト》

WEBにて資料配布を行う。

《学習状況・理解度の確認》

各授業後に小レポートを課する。

《参考図書》

吉永潤『社会科は「不確実性」で活性化する—未来を開くコミュニケーション型授業の提案』東信堂、2015

《備考》

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	教育方法の基礎的理論を理解し、教育実践での活用が行える。
	現代の教育実践に求められる「主体的・対話的で深い学び」を実現するための教育方法の重要性を理解して深い学習と対話的授業の実現のために情報機器の活用方法が理解でき、実践活用できる。
	学習者自身の情報機器活用能力育成と情報モラル形成の意義が理解できる。
	以上を踏まえて学習指導案を構成でき、その相互批評を通じて授業改善の重要性が理解できる。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	60
小テスト	0
レポート	0
発表・実技	20
授業内課題	0
その他(授業内レポート)	20
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション	授業と学びの質を左右する教育方法・教育技術・情報機器活用	授業内容の復習	45
2	教育方法の基礎的理論と概念	教授と学習、教育方法と教育内容、問題解決学習と系統学習	授業内容の復習	45
3	現代に求められる教育方法1	知識・理解とその主体的・実践的活用能力の育成	授業内容の復習	45
4	現代に求められる教育方法2	対話・コミュニケーション能力と協同的問題解決能力の育成	授業内容の復習	45
5	授業と学習を構成する環境1	学習素材としての教科書、教材、学習者の多様な既有経験	授業内容の復習	45
6	授業と学習を構成する環境2	情報機器の意義とその活用法	授業内容の復習	45
7	学習と授業の評価1	教育目標と学習評価の不即不離性、多様な学習評価の考え方と方法	授業内容の復習	45
8	学習と授業の評価2	学習評価を通じた授業の評価と改善のサイクル	授業内容の復習	45
9	対話的授業を生む教育方法1	多様性と対話を生み出す教材構成と問い・課題設定	授業内容の復習	45
10	対話的授業を生む教育方法2	学びを可視化・共有・定着させる板書と情報機器活用	授業内容の復習	45
11	対話的授業を生む教育方法3	学習者による情報機器活用能力の育成と情報モラルの形成	授業内容の復習	45
12	学習指導案の開発と交流1	グループ形成、教科選定、教材・指導案構成の話し合い	グループワーク	90
13	学習指導案の開発と交流2	学習指導案プレゼンテーション1	グループワーク	90
14	学習指導案の開発と交流3	学習指導案プレゼンテーション2	グループワーク	90
15	講義全体のまとめ	学習指導案の相互評価と授業全体の振り返りディスカッション	授業内容の全体に関する復習	45

《専門教育科目》

科目名	生徒指導論	科目ナンバリング	STAL42007
担当者氏名	根津 隆男	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	2 年 ・ I 期

《授業の概要》

受講者は、学習指導と並ぶ学校における重要な教育活動である生徒指導が、「児童生徒一人一人の人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して、全ての教育活動を通じて行われるものである」ことを理解し、教師としての対応力を身につける。

《授業外学習》

テキストの生徒指導提要のページをしっかりと呼んでおくこと。

《テキスト》

生徒指導提要（平成22年3月 文部科学省）

《学習状況・理解度の確認》

毎回のコメント用紙に記入された事柄について、重要と考えられるものについて講義のはじめに解説する。

《参考図書》

子どもの社会性を育む積極的生徒指導（中村豊著、学事出版）

《備考》

必要に応じてグループワークを実施する。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	生徒指導の意義や原理について理解する
	全ての学級・学年・学校における生徒指導の進め方について理解する
	生徒指導上の課題を把握しチームとしての学校を確立し外部関係機関との連携を含めた生徒指導の在り方を理解する

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	40
小テスト	0
レポート	30
発表・実技	0
授業内課題	30
その他()	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション	積極的生徒指導の意義と原理		60
2	生徒指導と学習指導	生徒指導と各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動との関連について	生徒指導提要P23	60
3	校内における組織体制の在り方	学校における生徒指導体制と教育相談や特別支援教育校内支援体制と連携及びその違いについて	生徒指導提要P88-89	60
4	集団と個	全体指導と個別指導に対応できる柔軟な対応策について	生徒指導提要P75-77	60
5	生徒指導に関する調査結果	学校における問題行動の現状と課題	文部科学省HP	60
6	事例研究	いじめについての具体的な対応策の検討	生徒指導提要P173-174	60
7	事例研究	不登校等について、家庭訪問を含めた対応策の検討	生徒指導提要P187-189	60
8	事例研究	児童虐待について児童相談所や警察との連携を通じた対応策について	生徒指導提要P212-217	60
9	児童生徒理解と生徒指導	発達障害の児童生徒への理解と学級づくりについてLD、ADHD、ASD等の児童生徒と集団の関り	生徒指導提要P42-537	60
10	講義と事例研究	校種間連携の現状と課題	生徒指導提要P75-77	60
11	生徒指導と連携	児童生徒の問題行動をめぐる学校・家庭・地域・関係機関の連携の現状と課題（青少年の行動の理解－インターネットと性）	生徒指導提要P178-179	60
12	特別活動との関連	生徒指導と学級・学校経営について	生徒指導提要P138-141	60
13	法規に準じた生徒指導	問題行動に対する懲戒と関連法規について		60
14	生き方としての生徒指導	キャリアカウンセリングと今日的な生徒指導の在り方		60
15	まとめと試験	自尊感情を育む積極的生徒指導の意義についてのまとめと確認のための試験		60

《専門教育科目》

科目名	教育相談（カウンセリングを含む。）			科目ナンバリング	STAL42008
担当者氏名	原 志津			担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2	・ 選	開講年次・開講期
					2 年 ・ II 期

《授業の概要》

教育相談は、幼児、児童、及び生徒が自己理解を深めたり好ましい人間関係を築いたりしながら、集団の中で適応的に生活する力を育み、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動である。幼児、児童、生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎知識を含む）を身に付ける。

《授業外学習》

授業で紹介する事柄で、関心のあることには積極的に調べて学んでください。このことについて学ぶための本のリストを初回授業で配布するので、その中から一冊を選んで手書きで5枚の感想文をかいて、最終授業日に提出してください。

《テキスト》

必要な資料は授業時間内に配布する。

《学習状況・理解度の確認》

小テストやレポートはコメントをつけて返却する。最終回の「まとめ」は全体的な講評を伝える。

《参考図書》

学習指導要領(文部科学省) 生徒指導提要(文部科学省) 「スクールカウンセラーがすすめる112冊の本」滝口・田中 創元社

《備考》

教員は、臨床心理士の資格をもつ実務家教員である。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	カウンセリングの基本技術を学ぶ。
	自分自身のところに焦点を当てる方法を学ぶ。
	子どもたちのサインに気づき、こころの成長・変化のプロセスを知る。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	65
小テスト	0
レポート	20
発表・実技	0
授業内課題	0
その他(授業態度)	15
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	オリエンテーション	15回の授業の構成について。「人の話しきく」ということの意味を考へる。	配布資料を読んで復習	45
2	カウンセリングの基礎	カール・ロジャーズのクライアント中心療法について学ぶ。	基本用語の整理	45
3	カウンセリングの実習	カウンセリングの実習(ロールプレイ)をおこなう。	ロールプレイの感想レポート	45
4	カウンセリングのプロセスについて	カール・ロジャーズの「心理療法の過程概念」を学ぶ。	配布資料の整理	45
5	フォーカシングについて	カウンセリングの「過程概念」から発展した「フォーカシング」について学び、実際に体験して学ぶ。	小テストの準備	45
6	自分自身のテーマを知る	カウンセリングについて的小テスト(30分)、自分自身のテーマを知るための心理テストを体験する。	心理テストの感想レポート	45
7	こころと身体	身体に異常がないのに起こる「症状」について臨床心理学の考え方を学ぶ。	配布資料の復習・予習	45
8	軽度発達障害について学ぶ	軽度発達障害について学ぶ	配布資料の復習・予習予習	45
9	軽度発達障害について学ぶ(2)	軽度発達障害について、運動発達という側面から学ぶ	配布資料の整理	45
10	いじめの被害者・加害者への理解と対応	学校と教育の場でいじめによって辛い思いをする子どもたちを減らすための取り組みについて考へる。	配布資料の復習	45
11	子どもたちの育つ環境の問題	大人が子どもたちの発達を妨げている事例について学ぶ	配布資料の復習	45
12	箱庭療法について	箱庭療法が生まれた背景とその理論について学び、ひとつの事例について知る	映像教材に対する感想レポート	45
13	不登校の子どもへの理解と対応	どのような態度で子どもたちに向き合えば、不登校の子どもたちの問題解決につながるのか考へる。	配布資料の予習と演習の復習	45
14	教師のメンタルケア・教育と福祉の連携	子どもたちの心のケアと教師のメンタルケア・教育と福祉の連携-ソーシャルワーカーの役割を知る。	配布資料の予習と復習	45
15	学習のまとめ	自分なりに今後の教育現場で活かせるよう授業の学びをふりかえる。	配布資料の整理	60

《専門教育科目》

科目名	進路指導論	科目ナンバリング	STAL43009
担当者氏名	古川 雅文	担当形態	単独
授業方法	講義	単位・必選	2 ・ 選
		開講年次・開講期	3 年 ・ I 期

《授業の概要》

進路指導は、生徒一人ひとりが自分の将来の生き方への関心を深め、主体的に将来の進路選択・計画を行い、将来の適応に必要な能力をはぐくむために、教師が計画的、組織的、継続的に取り組む教育活動である。近年ではキャリア教育として、より広く、キャリア発達を促す指導・援助の系統的な展開が目指されている。この授業では、進路指導・キャリア教育の意義、内容、及び方法を確認するとともに、それらの背景となる理論についても学習する。

《テキスト》

- ・小泉令三・古川雅文・西山久子（編）「キャリア教育一生涯にわたる生き方教育の理解と実践」北大路書房
- ・必要に応じてプリントも配布する

《参考図書》

文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」教育出版、文部科学省「高等学校キャリア教育の手引き」教育出版。（これらはネット上でも参照可能）。その他、適宜紹介する。

《授業の到達目標》

ディプロマポリシーの能力	授業の到達目標
履修カルテ参照	進路指導の意義、内容および方法について理解し、説明することができる。
	キャリア教育の意義、内容、方法、および背景となる理論について理解し、説明することができる。
	キャリア教育を組織的・計画的に実行する方法を理解し、計画を立案できる。

《授業外学習》

- ・教科書等の指定箇所を読んでおくこと。
- ・授業後には、授業で配布された資料等を活用して、授業内容の振り返りを行うこと。

《学習状況・理解度の確認》

- ・授業の要点と感想を書いてもらい、コメントを付して返却する。

《備考》

- ・一部、グループ学習を取り入れ、学生の意見を聞きながら講義を進めるなど、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業を心がける。

《成績評価の方法と評価の割合》

評価方法(%)	
試験	60
小テスト	0
レポート	0
発表・実技	0
授業内課題	40
その他()	0
合計	100

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など	予習・復習等の内容	予習・復習等の時間
1	進路指導の意義と内容	学校における進路指導の意義と内容について論考する。	配布されたプリントを読む	60
2	進路指導・キャリア教育の歴史と社会的背景	職業教育、進路指導からキャリア教育と変遷していった歴史を振り返り、その社会的背景について概説する。	配布されたプリントを読む	60
3	キャリア教育の意義と内容	学校におけるキャリア教育の意義と内容について概説する。	テキストの第1章を通読	60
4	進路指導・キャリア教育の理論1(特性論)	進路指導・キャリア教育の理論的背景の一つである特性論について概説する。	テキストのp14～p17を通読	60
5	進路指導・キャリア教育の理論2(発達理論)	進路指導・キャリア教育の理論的背景の一つである発達理論について概説する。	テキストのp.17～p.20を通読	60
6	進路指導・キャリア教育の理論3(学習理論)	進路指導・キャリア教育の理論的背景の一つである学習理論について概説する。	テキストのp.21を通読	60
7	教育課程と進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育と教育課程との関係について解説する。	テキストの第3章を通読	60
8	進路指導・キャリア教育の方法と技術	進路指導・キャリア教育で用いられる特徴ある教育方法について解説する。	テキストの第4章を通読	60
9	小学校におけるキャリア教育実践	小学校におけるキャリア教育の実践について解説する。	テキストの第8章を通読	60
10	中学校におけるキャリア教育実践	中学校におけるキャリア教育の実践について解説する。	テキストの第9章を通読	60
11	高等学校におけるキャリア教育実践	高等学校におけるキャリア教育の実践について解説する。	テキストの第10章を通読	60
12	進路相談・キャリアカウンセリングの基礎	進路相談とキャリアカウンセリングの基礎について概説する。	テキストの第7章を通読	60
13	進路指導・キャリア教育の組織と推進	進路指導・キャリア教育を行うための組織と推進方法について概説する。	テキストの第6章を通読	60
14	進路指導・キャリア教育の評価	進路指導とキャリア教育の評価方法について概説する。	テキストの第5章を通読	60
15	諸外国におけるキャリア教育	諸外国、特にアメリカにおけるキャリア教育について概説し、わが国のキャリア教育と比較する。	テキストの第14章を通読	60